

平成25年度 西東京市立 泉小学校 学校関係者評価表

学校教育目標 ・進んで学ぶ子 ・助け合う子 ・元気な子

目指す学校像（ビジョン）

【目指す学校像】 児童にとって学校が「笑顔いっぱい 友だちいっぱい 夢いっぱい」の存在であり続けること
 【目指す児童像】 「よく学び よく考え行動し よく行動する 保谷の子」を目指し「知・徳・体」のバランスのとれた生きる力をもった子
 【目指す教師像】 教育の正否を最終的に決定するのは教師の在り方であるという自覚をもち、自己研鑽に努める教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

・漢字や計算練習、朝学習の充実により基礎学力の向上を図ったが、今後も充実した取り組みが必要である。・道德の時間を通して道徳の実践力の育成に努め、生活指導面での成果が現れてきたが、人権意識を高める取り組みが必要である。・保健指導や体育集会等の実施により運動能力面での向上が見られたが、健康・安全の意識をもたせる取り組みが必要である。

	具体的方策	学校自己評価		学校の取組み及び改善策	学校関係者評価	学校関係者評価記入欄
		努力目標	成果目標			
確かな学力の向上	習熟タイムの設定等の習熟方法を工夫し、年間4回、漢字と計算についての定着率を診断テストで調査する。 担当教務 進行管理・谷川先生	4	3	漢字の成績はどの学年も向上し、達成度が0.6ポイント上がった。算数は学年によりかなりばらつきがあり、問題の選択が適切でないものもあるようである。しかし、例えば4年生の小数の問題は、教師が基本的とみなした問題でも、子供にとっては難しかったので、授業の重点の置き方、進め方に関する有益な資料になった。	3	外部からは、具体的に見えず評価しづらい内容である。目標が3（診断テストが80点以上が80%以上）であり全体的には良いと思う。理解度別授業や個別指導を充実させていってほしい。習字・作文などとてもよくできていると感じている。漢字は成果が上がっていると思う
	授業づくりスタンダードの項目をもとに授業づくりの工夫を継続して行い、年間3回、児童の意識調査を実施して意欲の高まりを把握する。 担当教務 進行管理・谷川先生	4	2	「文具の用意」「ノート」「授業前後のあいさつ」「道具の片づけ」「次時の準備」「先生の待ち方」「姿勢正しい座り方」「ノートの工夫」「言葉づかい」「話の聞き方」などについて各学級で徹底させていく。2回目のアンケートで、学習への意欲を調べた結果、自分から意欲的に学習に取り組もうとしている児童は、学校の75.5パーセントであった。さらに高めるため授業改善をしていく。	3	学習・授業の取り組みはいいと感じている。学習の好きな児童が多くて良いと思う。これからも、学習意欲についての、わかりやすい内容のアンケートを実施してほしい。学習面と共に、自分の身の回りの整理整頓ができるように、意識させてほしい。そのために子供に課題をもって考えさせたい。
	読書カード等を工夫し、読書に対する興味、関心をもち、読書量調査を年間3回実施する。 担当図書部 進行管理・中島先生	4	4	完読の記録、金曜日の朝読書、読書旬間、お薦めの本を紹介といったさまざまな読書活動を継続した結果、読書量の増加が目に見える形で現れた。冊数の伸びは特に低・中学年で著しく、来年度も早い発達段階から「最後まで読み切る」ことの指導を進めていくことが重要であるといえる。	4	読書に対する取り組みの良さは伝統的にあると思う。読書好きでよく本を読んでいるが、カードに記入する習慣がないように思える。たくさん読んでいてもそれがデータに反映されている子といない子がいるのではないかな。作家の杉山亮先生や百人一首の先生などにご指導頂き、とても良い体験や経験ができていて良かった。
	道德の時間に重点項目について学期2回以上指導し、年間3回、道徳的判断力が高まったかを調査する。 担当道徳部 進行管理・山崎先生	4	3	生活指導と関連させて「あいさつカード」やあいさつ旬間などの活動を通じて、進んで気持ちのよい挨拶ができる児童の育成に取り組んだ。道徳の授業は、下学年では、基本的な生活習慣や友情、規則尊重・公徳心、上学年では、自然愛の主題項目を中心に実施してきた。しかし、学校全体で個性伸長、敬けん、愛校心の実施率が低いので今後、重点的に扱っていく。	3	挨拶は社会性の基本なので効果が上がっていることはとても良いことだと思う。子供に注意するだけでなく、学校職員・保護者自身も意欲的に挨拶を心がけていきたい。登下校での挨拶はすばらしい。校内では、来校者に対して挨拶をしにくい様子を感じるがあった
豊かな心の育成	特別活動等を通して異学年と関わる場を多く設定し、年間3回、児童の意識調査を実施する。 担当特別活動部 進行管理・山岡先生	4	3	縦割り集会では、6年生が計画を立てて実行することができた。高学年が低学年をお世話しながらコミュニケーションを積極的にしている姿が多く見られた。特に休み時間では校庭で一緒にサッカーをしたり、なわとびをしたりしながら楽しそうに活動している姿が見られた。今後もさらに関わりを深められるよう、休み時間などの活動を見届け、称賛しながら向上していきたい。	3	異学年交流が学校生活の中で生かされていることは良いことだと思う。帰りの会で、一日の感想や困ったこと等を言う学級があった。「私は、こんなことを言われて悲しかった」など友達のことをみんなで考える時間があった とても互いを思いやる機会がよいと思った
	体育集会等を実施し、体力の向上を図る。年度当初の体力テストで重点種目を決定し、学期ごとに重点種目の体力テストで実態を調査する。 担当体育部 進行管理・山岡先生	4	4	体力測定の結果から、2学期は学年ごとに全国平均より下回っている種目について再測定を行った。課題のある動きの向上に努めた為どの学年も東京都の平均を上回ることができた。3学期は体育的行事を通じて、さらに今後も外遊びや運動の楽しさなどを励行し、今後も児童の体力向上に努める。	4	都の平均を上回っているということが、数字で表れているのは良いと思う。姿勢学習の兼子ただし先生にご指導いただき、子供たちにとって良い経験ができたと思う。
	主任養護教諭の指導のもと、保健指導の場を昨年度より増加し、保健指導の充実を図り、また、栄養士と連携し食育指導を行い、年間3回、児童の健康に関する意識調査を行う。 担当保健部 進行管理・桑島先生	4	4	食事、睡眠、運動の指導を継続的に実施し、特に朝食について体力作り、風邪予防の点からもバランスよくたべる指導を学級指導と給食指導で行っていく。	4	アンケートで4であれば大丈夫だと思います。生活面に付いてのアンケートの実施は意識付けの点においても良いことだとおもう。
地域と歩む学校	青少年育成会の行事に学校として積極的に参加充実させ、保護者アンケートの満足度を調査する。 担当 副校長	4	3	全体的に見て、70パーセントを超える方がよいと評価してくださった。前期よりも評価が上がった。これからも積極的に参加し、共に活動をしていき、ご理解を深めていきたい。	3	学校と地域の連携はよくできていると思う。先生方の意欲が感じられる。子供たちが喜んでいるのがわかる。せっかくのドッジボール大会などいい行事に、保護者・子供の参加者が少ないので参加率を上げるための策を考えていきたい。保護者地域が積極的に関わられる努力を学校がしているのは良いと思う。
	学校だより、学年だより、保健だより、給食だより、図書館だより等は月1回以上、学級だよりは月2回以上発行し、ホームページも充実を図り、保護者アンケートの満足度を調査する。 担当 副校長	4	4	前回に引き続き、アンケートの回答から、分かりやすく知らされているという評価が得られている。学校の様子をこれからも発信していきたい。来年度は、HPを充実させ、頼学校の理解を深めていきたい。	4	学校の様子がよくわかるお便りだと思う。これからも続けてほしいと思う。